

絵日記部門

総評

どの作品を見ても、絵がのびのびと書かれていることに驚きました。大きな画用紙に、いろいろな工夫をした作品がたくさんあって、楽しく審査することができました。ただ絵にくらべて日記の文章が、少し力不足です。その日にあったことがらを、順を追って説明するのではなく、自分の感想や考えを加えれば、文章ももっと良くなり、絵日記全体がいきいきしています。自分の感想を十分表現するためには、市販されている絵日記帳にこだわらず、自分自身で工夫して、絵日記帳を作ってみてください。すぐれた感性を正直にあらわしてみてください。

最優秀賞受賞作品

岩手県・盛岡市立城南小学校
二年 加藤 公正
指導者 岩館 チヨ

大きな画面に、力強い絵が描かれていてとてもダイナミックな作品です。画用紙をおりたたんだ、びょうぶのような形の日記帳なので、そのあとも、ずっと続くような感じがします。これは、加藤君のすばらしいアイデアです。絵と

文章がしっくりきていて、両者のバランスも良く、さわやかな感動を覚えました。全国の子どものたちの参考になる作品だと思います。



▲人物の目が、いきいきしています。

七月三十日 土曜日 雨
すいかわり

きょう子どもかいて、すいかわりをした。すいかを、木バットでわった。どんどんぼくのわるときが、ちかづいてきた。こわくて、ブルツとふるえた。めかくしをしてすいかにちかづいていて、おもいつきりバットをさげた。でもわれなかった。

*

群馬県・前橋市立桃井小学校
一年 石田 優子
指導者 関口 昌子

石田さんの作品も、前の二人と同じように、絵日記帳に、かなりの工夫がみられます。絵を描く時に、いろいろな画材を使っています。絵の具・クレヨン・色鉛筆などの特長をつかんで、それをうまく生かしています。とてもすばらしいです。



▲絵の具とクレヨンで描いています。

七月二十一日 木曜日 はれ
あきから、あめがふっていたので、プールにいけないとおもったけど、おひるからあめがやんで、プールにきました。じゅうのときおよくのをれんしゅうしたら、ちよっとおよげるようになりました。あとで二ねんせいのもちちゃんと、大プールにはいりました。とてもたのしかったです。

*

京都府・京都女子大学付属小学校
一年 大山ちはる
指導者 中村 栄子

大山さんの絵日記は、視点がとてもはっきりしていました。一日のできごとの中で、何がいちばん印象に残ったのか、ということが大山さんの絵日記は、一目でわかります。絵も文章も生活がみごとに描かれています。

また、文章の部分では、紙をくっつけて文章をふやし、書きたいことをたくさん書いていますね。情熱がひしひしと伝わりました。



▲絵がみごとに描かれています。

八月二十日 土曜日 はれ
かにがしんだので、おはかをつくってあげました。ふたがないので、かわりにおしめのぬのをかぶせていたら、二ひきがぬのをつつたにげました。その中の一ひきは、しきものしたのでしんでいました。とてもかなしかったです。みぎのえは、四ひきみんが、げんきだったころのえです。

優秀賞受賞作品

奈良県・奈良育英小学校
一年 伊藤麻衣子
指導者 吉田 武浩



▲ピンクや黄色、青などの色画用紙が使われています。

八月七日 日曜日 はれ

このえは、いしどりまつりをみているところです。かねをみると、かなづちみたいなのてたいていました。たいこはおおだいでした。"ドン・ドン"となりました。

とてもいきいきとした作品です。文章が自分のことばで書かれています。

伊藤さんのすばらしいところは、描く題材の内容に合わせて、色画用紙で背景を工夫している点です。こういった工夫が、楽しい作品を作り出す要因だと思います。

入賞者一覧

最優秀賞

岩手県・盛岡市立城南小学校

二年 加藤 公正

優秀賞

奈良県・奈良育英小学校

一年 伊藤麻衣子

群馬県・前橋市立桃井小学校

一年 石田 優子

京都府・京都女子大学付属小学校

一年 大山ちはる

優良賞

愛知県・愛知教育大学付属岡崎小学校 二年 坪井彩矢香

宮城県・中新田町立中新田小学校 二年 浅野 啓人

石川県・金沢市立松ヶ枝町小学校 一年 山本 明

京都府・京都女子大学付属小学校 一年 藤岡 雅子

京都府・京都女子大学付属小学校 一年 山城 智子

京都府・京都女子大学付属小学校 一年 中井まき子

佳作

東京都・文京区立窪町小学校

二年 広川 奈苗